

(様式1)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	4 2	学校名	宇都宮市立 富屋小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	-------------

令和6年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

豊かな心と健やかな体を持ち、自ら考え進んで学び、次代をたくましく生きる児童の育成

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

富屋の子：元気・根気・思いやり

○元気でやりぬく子 ○自分で考え進んで学ぶ子 ○仲間のために考えはたらく子

2 学校経営の理念

—地域に根ざし、児童が生き生きと活動する学校の創造—

富屋地区の特性は、恵まれた自然、豊かな歴史と文化、地域の人々の強い絆である。これらを基盤とした「潤いと活気あふれる学校づくり」に取り組み、児童が郷土を愛し、自立して力強く生きていくための「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を育むことを目指す。

3 学校経営の方針

- (1) 基礎・基本の確実な定着を図ることで、学ぶ意欲の向上・主体的に学ぶ態度の育成
- (2) 学習課題をはっきり理解させる見通しを大切に「わかる授業」の一層の充実
- (3) 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、自ら見通しをもって学びに向かう児童の育成
- (4) GIGAスクール構想による1人1台端末を、日常的に活用できることを前提とした教科の学びを深め学びの本質に迫るための授業の工夫・改善
- (5) 道徳科の授業や体験活動を中核に、自他の生命を尊重するとともに、感謝や思いやりなどの豊かな心を育成するための教育活動の推進と、規範意識の醸成やいじめを生まない指導の充実
- (6) 基本的な生活習慣の確立と社会性の育成を図る児童指導の充実
- (7) 自信や自己有用感を育成するための児童一人一人のよさを認め励ます教育の推進、及び居がいのある温かい雰囲気学の級経営等による、新たな不登校を生まない支援の充実
- (8) 自らの健康を大切にする能力や態度、及び自己の安全を守る資質や能力の育成
- (9) 地域の特性や教育力を生かした連携・協働による特色ある教育活動の一層の推進
- (10) 地域に開かれ、信頼される学校づくりの推進（地域はみんなの学校）
- (11) 一人一人が自らの未来を見つめ持続可能な社会の実現に向けた担い手となることを育む教育の推進
- (12) 勤務時間を意識したり、校内業務の適正化を図ったりするなど更なる働き方改革を推進するとともに、教育公務員としての使命感と誇りをもって、互いに高め合う協働的な同僚性の構築と自らの資質の向上に努める職員研修の充実

【晃陽地域学校園教育ビジョン】

「未来を見据え、地域と連携し、子どもが生き生きと学ぶ晃陽地域学校園」

4 教育課程編成の方針

(1) 基本方針

- ・国、県、市の方針を受け、本校教育目標達成のための経営方針や努力点、学校評価の反省等を踏まえた編成
- ・基礎的・基本的な内容を重視しながら、創意工夫を生かした教育及び特色のある学校づくりを意図した編成
- ・カリキュラムマネジメントの視点のもと、教育活動全体を通して学校教育目標が達成されるような編成

(2) 留意事項等

- ・教育課程全体のバランスを図りながら、学習指導要領のねらいが実現可能な、指導時間の十分な確保
- ・問題解決的な学習や体験的な学習による主体的・対話的で深い学びの実現と、思考・判断・表現等を促す、教師が授業をコーディネートする力の向上
- ・学習形態の工夫や教師の専門性を生かした授業交換の推進、ICTの効果的な活用による、個に応じたきめ細かな指導の充実
- ・道徳科の授業の充実による、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成
- ・外国語を通じて言語や文化についての体験的な理解と、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の醸成
- ・総合的な学習の時間のねらいに即した、本校の特色を生かした横断的・総合的な学習や探求的な学習の推進と指導の充実による、SDGsや人権、主権者教育やキャリア教育等今日的な諸課題に対応していくための資質・能力の醸成
- ・相互関連が十分配慮された特別活動の実施と、生活上の課題解決に自ら取り組むことができるような指導の充実
- ・すべての教育活動を通した、互いに認め合い励まし合おうとする好ましい人間関係の構築と生活指導の充実、及び「宮っ子の誓い」の意識化、実践化
- ・県・市の人権教育基本方針に基づいた、人権尊重の理念についての理解
- ・「元気っ子健康体力チェック」の結果を踏まえた運動の日常化のより一層の充実と健康で安全な生活を送ろうとする態度の育成
- ・自他の生命を尊重し、健康で安全な生活を営む態度を育成するための、交通安全教室や避難訓練また外部講師による教育講話会等の効果的な実施
- ・AI型学習ドリル等の計画的・効果的な活用による、個に応じた基礎的・基本的「知識・技能」の定着
- ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の実践と、インクルーシブ教育の理念を踏まえた特別支援教育の推進
- ・「宮・未来キャリア・パスポート」や「宮っ子『夢』事業」の活用による、自身の夢や目標を実現しようとする意欲や態度の育成
- ・地域に根ざした総合的な学習の時間「富屋ふるさと学習」や「宇都宮学」の推進による、地域を愛し、大切にしていこうとする態度の醸成

5 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

- (1) 学校運営：学校・家庭・地域の連携体制を基盤とした、地域に根ざした信頼と魅力ある学校づくりの推進【創意工夫と活力ある教育活動の展開】

(2) 学習指導

- 基礎基本の定着と学力向上を目指す学習指導の改善及び児童の学習習慣の形成
- ・自分の考えを表現し、学び合う児童を育てるための授業の工夫

(3) 児童生徒指導

- 生命の尊さを理解し、思いやりの心をもって正しく判断し、たくましく行動することができる児童の育成
- ・心の教育の充実による自信や自己有用感などをもつなどのたくましさの涵養

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

- ・生涯にわたる健康的で安全な生活習慣を身に付け、積極的に運動に取り組み、進んで体力を高めようとする児童の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食育・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・様々な交流活動を通して、互いに認め合える温かい人間関係及び豊かな心
- ・社会に自立するための基礎としてのコミュニケーション能力と社会性
- ・地域に学び、地域のすばらしさ（自然・歴史・文化や産業・人）についての理解を深め
先人や今を生きる人々に感謝し、地域を愛し、大切にしていこうとする態度

(2) 具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

①交流活動の推進（生活科及び総合的な学習の時間、学校行事等）

- ◇県立富屋特別支援学校（及び居住地交流校）、徳次郎保育園、山王認定こども園、近隣福祉施設、富屋地区社会福祉協議会員との交流
- ◇運動会（地域と合同で実施する「ファイト！とみや2024」）での高齢者や地域住民、幼児、中学生との交流
- ◇富屋地区ふるさとまつりでのまちづくり団体等との交流

②地域の人材や教育資源の活用

- ・各教科・特別活動

地域内施設めぐり、◇宇都宮動物園（遠足・出前授業）、◇米・野菜作り
◇収穫祭における農作業体験、学習補助等、◇「宮っ子『夢』教室」

◇総合的な学習の時間【富屋ふるさと学習】（3～6学年）

◇ホテル学習、福祉施設・地域社協等との交流活動、◇学校田活動、◇富屋再発見、民話活動

◇朝の学習における読み聞かせ（読み聞かせボランティア）

③「富屋ふるさと学習」等における体験活動を通じた心の教育の充実

- ・体験活動と各教科等との有機的関連、及び教科横断的な視点を意識した学習指導の充実

④あいさつ運動の推進及び言語環境の整備と充実

⑤「富屋のきまり」を基にした規範意識・社会性の醸成

⑥食育の推進

- ・学校栄養士とのT・Tによる食に関する指導の充実
- ・学校田で収穫した米を利用した炊飯実習、地域協力者に対する感謝の会

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的考え

学校と地域が連携・協働し、地域全体で次代を担う児童の成長を支えていく体制のもと地域に開かれ、信頼される学校づくりを目指す。

②主な取組

◎保護者や地域住民への情報提供・情報発信

- ・授業参観及び学年・学級懇談会の工夫改善・充実
- ・各種たよりの発行・学校HP掲載（内容の充実と定期的な更新）
- ・学校だより、児童指導だよりの地域回覧
- ・地域行事等における学習成果の発表
- ・パブリシティ活動（新聞・テレビ等への積極的な情報提供）の推進

◎地域と融合した学校行事、融合活動・交流活動

- ・地域と融合した運動会「ファイト！とみや2024」、収穫祭、その他の行事参加
- ・近隣保育園、認定こども園、特別支援学校、福祉施設、ホタル愛護会
- ・地区まちづくり協議会等との交流活動

◎魅力ある学校づくり地域協議会による教育活動への支援

- ・収穫祭における農作業体験への指導及び支援
- ・校内授業研究会での教室見守り
- ・「富屋ふるさと学習」の地域人材、団体のコーディネート及び支援
- ・宇都宮動物園からの出前授業
- ・学校支援ボランティアとの調整・活用・学校関係者評価の実施

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

晃陽地域学校園における義務教育9年間を見通した系統的な指導と、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動による、児童生徒の学力保障と学校生活適応を目指す。さらに、学校園内、篠井小・晃陽中への協力体制を維持し、学校園の教育力を強化する。

②主な取組

- ・乗り入れ授業 ・授業の公開や参観 ・小学校6年生の中学校訪問
- ・合同あいさつ運動の実施
- ・学習の3つの約束（「あいさつ 姿勢 返事」）の推進
- ・学校園冒険活動交流プログラムの実施 ・合同修学旅行の実施
- ・ファイト！とみや協力
- ・保健、安全、食育、図書館教育、特別支援教育、事務等の情報共有と連携事業の実施

(3) 不登校対策

①基本的考え

どの児童にも起こりうることであり、すべての児童に対してきめ細やかな配慮や対応を心掛け、未然防止と早期発見・早期対応に努める。不登校傾向を把握した時には、状況に応じて話し合いの場を設け、効果的な対応を組織的に行う。

②主な取組

◎未然防止と早期発見・早期対応

- ・居がいのある学級作り
- ・学級担任による定期的な教育相談（最低、年2回）
- ・児童理解に関する情報の共有
- ・「1日休んだら電話、2日続けて休んだら家庭訪問」の実施と1人1台端末の活用

◎組織的な対応

- ・校内支援体制の確立
- ・役割分担の明確化
- ・保護者およびSC、学校外の関係機関や関係団体、専門家との連携及び別室登校

(4) G I G Aスクール構想

①基本的考え

すべての児童、教職員が1人1台端末を文具の一つとして、授業の内外において日常的に活用できることを前提に、教科の学びを深め学びの本質に迫るための授業の工夫・改善を行う。

②主な取組

- ・ I C T支援員の計画的な活用
- ・ 教員同士の日常的な情報交換と校内研修の充実
- ・ 働き方を意識しながらもスキルアップのための校外研修の積極的な参加
- ・ A I型学習ドリル・スクールタクト等の計画的な活用
- ・ 家庭学習での1人1台端末の活用
- ・ 各教科年間指導計画への1人1台端末活用の位置付け

(5) 宇都宮学

①基本的考え

児童が郷土宇都宮の歴史や伝統文化、産業などについて理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにする。

②主な取組

- ・ 宇都宮学副読本の活用
- ・ 社会科副読本の活用
- ・ 「富屋ふるさと学習」との関連付け
- ・ S D G s やN C C（ネットワーク型コンパクトシティ）の達成に向けた宇都宮市の取組の理解や教育活動の充実

